

れいしきかんじょうせんとうきろくにがた 零式艦上戦闘機六二型（ゼロ戦）



しょうわ 昭和15（1940）年、かいぐん 海軍に採用された飛行機で、きどうせい 機動性にすぐれ（じょうきょう 状況に応じてすばやく動くことができること）、ながいこうぞくきょり 長い航続距離（1回に積んだ燃料で、飛ぶことのできる距離）をほこる飛行機でした。

昭和19（1944）年10月から始まった「かみかぜとくべつこうげきたい 神風特別攻撃隊」のへんせいいこう 編成以降、ばくだん 爆弾を積んで飛行機ごと体当たりするとっこうさくせん 特攻作戦に使用され、多くの命が失われました。

やまと 大和ミュージアムに展示してある機体は、エンジントラブルによってびわこ 琵琶湖にふじ 不時着水したもので、昭和53（1978）年1月に引きあげられ、しゅうふく 修復したものです。

とっこう 特攻とは？

とくべつこうげき とっこう とくしゅ こうげき 「特別攻撃（特攻）」は特殊な攻撃方法のこと。戦争の状況が悪化するころには、爆弾をとりつけた飛行機などで体当たりするさくせん 作戦がくりかえし行われました。高校生、大学生くらいの若い人たちがたくさんせんし 戦死しました。



実物の展示は迫力があるね！

いろいろな角度から見てみよう！

